



各位

平成 24 年 1 月 13 日  
会社名 三 櫻 工 業 株 式 会 社  
代表者名 取締役社長 竹田 陽三  
(コード番号 6584 東証第一部)  
問合せ先 取締役執行役員  
財務管理部長 篠原 良幸  
(TEL 0280-33-1121)

**(訂正)「平成 23 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について**

当社は、本日付「訂正有価証券報告書等の提出及び過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、過年度の決算を訂正することといたしました。

このため、平成 22 年 10 月 29 日に発表いたしました「平成 23 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容を一部訂正いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

**訂正事項**

- ・ サマリー情報 1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期の連結業績
- ・ 添付資料 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報  
3. 四半期連結財務諸表

訂正箇所につきましては、\_を付して表示しております。

(訂正前)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	40,605	28.2	4,112	228.1	3,744	205.0	1,976	208.3
22年3月期第2四半期	31,673	△32.3	1,253	△46.0	1,227	△47.6	641	△51.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	56.22	—
22年3月期第2四半期	18.25	—

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	67,033	36,485	51.6	942.97
22年3月期	65,071	34,144	49.7	921.52

(参考) 自己資本 23年3月期 第2四半期 34,589百万円 22年3月期 32,328百万円

(訂正後)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	40,605	28.2	4,111	228.3	3,743	205.2	1,975	208.5
22年3月期第2四半期	31,673	△32.3	1,252	△46.0	1,226	△47.6	640	△51.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	56.20	—
22年3月期第2四半期	18.23	—

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	67,206	36,230	51.1	936.02
22年3月期	65,244	33,890	49.2	914.28

(参考) 自己資本 23年3月期 第2四半期 34,335百万円 22年3月期 32,074百万円

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(訂正前)

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期における経済情勢は、日本経済は、新興国の経済成長や企業収益の改善を受け、景気は自律的な回復の動きも見られましたが、急激な円高や株価の変動などによる景気の下振れ懸念が広がっています。また、海外では、各国の財政状況の悪化などを背景に、景気回復のテンポが緩やかになっています。

自動車業界におきましては、新興国市場での需要拡大は引き続き堅調でありましたが、日本においては、環境対応車向けの補助金制度が9月上旬に終了したことによる需要反動により、生産、販売ともに減少傾向にあります。加えて、急激な円高の進行による為替相場への不安は根強く、先行きは不透明感を増しております。

このような環境のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品は、前期から続く自動車生産の回復傾向により、前年同期と比べて生産が大幅に増加いたしました。

その結果、売上高は406億5百万円（前年同期比28.2%増加）となりました。また、利益面につきましては、売上高の回復に加えて、前期から取り組んできた構造改革によるコスト削減効果により、経常利益は37億44百万円（前年同期比205.0%増加）、四半期純利益は19億76百万円（前年同期比208.3%増加）と、増収増益となりました。

製品別では、車輛配管製品（ブレーキ・燃料配管用等）、エンジンシステム向けのブレイジング製品（燃料噴射用、冷却水循環用、オイル冷却用等）、樹脂製品（クイックコネクター、樹脂チューブ製品等）及び車輛安全製品（シートベルト用）のいずれの製品も前年同期と比べて売上げが増加いたしました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

環境対応車向けの補助金制度の終了に向けた取引先自動車メーカーの生産回復により、製品受注が増加いたしました結果、売上高は224億24百万円（前年同期比21.3%増加）、営業利益は23億4百万円（前年同期比120.1%増加）となりました。

#### ②北米・中南米

取引先自動車メーカーの生産回復により、売上高は96億59百万円（前年同期比40.0%増加）となりました。また、構造改革による業務効率化と生産性の向上により、営業利益は8億40百万円（前年同期は38百万円の営業損失）と大幅に改善いたしました。

#### ③中国

中国自動車市場の拡大により引き続き堅調に推移いたしました結果、売上高は26億28百万円（前年同期比12.8%増加）、営業利益は3億56百万円（前年同期比119.8%増加）となりました。

#### ④アジア

タイ、インドネシアをはじめとする東南アジアにおける自動車市場の大幅な回復により、売上高は45億63百万円（前年同期比64.3%増加）、営業利益は6億77百万円（前年同期比493.9%増加）となりました。

#### ⑤欧州

売上高は13億31百万円（前年同期12.4%増加）となりましたが、取引先自動車メーカーの生産回復の遅れにより収益を確保するまでには至らず、65百万円の営業損失となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は670億33百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億62百万円増加しました。主な要因は現金及び預金の増加1億59百万円、売上債権の増加4億18百万円、たな卸資産の増加6億23百万円、有形固定資産の減少5億83百万円、投資有価証券の増加4億49百万円、繰延税金資産の増加2億54百万円等であります。

負債合計は305億48百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億79百万円減少しました。主な要因は仕入債務の増加5億74百万円、借入金の減少12億69百万円、未払金の増加3億89百万円、未払法人税の減少1億53百万円、退職給付引当金の増加2億18百万円等であります。

純資産は364億85百万円となり、前連結会計年度末に比べて23億41百万円増加しました。主な要因は四半期純利益による増加19億76百万円、配当金支払による減少3億16百万円、自己株式の処分による増加10億26百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億28百万円、為替換算調整勘定の減少1億79百万円等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動により得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が31億56百万円、減価償却費が20億75百万円、売上債権の増加による資金減が6億32百万円、たな卸資産の増加による資金減が8億54百万円、仕入債務の増加による資金増が7億99百万円、法人税等の支払による資金減が12億99百万円あったことなどにより、38億99百万円となりました。

投資活動により使用された資金は、有形固定資産の取得による支出が21億44百万円、投資有価証券の取得による支出が10億00百万円あったことなどにより、31億67百万円となりました。

財務活動により使用された資金は、短期借入による収入27億20百万円、短期借入金の返済による支出38億28百万円、長期借入による収入4億70百万円、長期借入金の返済による支出4億63百万円、自己株式の処分による収入9億92百万円、配当金の支払による減少3億16百万円などにより、4億45百万円となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末と比較して1億59百万円増加し、94億72百万円となりました。

(訂正後)

#### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期における経済情勢は、日本経済は、新興国の経済成長や企業収益の改善を受け、景気は自律的な回復の動きも見られましたが、急激な円高や株価の変動などによる景気の下振れ懸念が広がっています。また、海外では、各国の財政状況の悪化などを背景に、景気回復のテンポが緩やかになっています。

自動車業界におきましては、新興国市場での需要拡大は引き続き堅調でありましたが、日本においては、環境対応車向けの補助金制度が9月上旬に終了したことによる需要反動により、生産、販売ともに減少傾向にあります。加えて、急激な円高の進行による為替相場への不安は根強く、先行きは不透明感を増しております。

このような環境のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品は、前期から続く自動車生産の回復傾向により、前年同期と比べて生産が大幅に増加いたしました。

その結果、売上高は406億5百万円（前年同期比28.2%増加）となりました。また、利益面につきましては、売上高の回復に加えて、前期から取り組んできた構造改革によるコスト削減効果により、経常利益は37億43百万円（前年同期比205.2%増加）、四半期純利益は19億75百万円（前年同期比208.5%増加）と、増収増益となりました。

製品別では、車輛配管製品（ブレーキ・燃料配管用等）、エンジンシステム向けのブレージング製品（燃料噴射用、冷却水循環用、オイル冷却用等）、樹脂製品（クイックコネクター、樹脂チューブ製品等）及び車輛安全製品（シートベルト用）のいずれの製品も前年同期と比べて売上げが増加いたしました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

##### ①日本

環境対応車向けの補助金制度の終了に向けた取引先自動車メーカーの生産回復により、製品受注が増加いたしました結果、売上高は224億24百万円（前年同期比21.3%増加）、営業利益は23億3百万円（前年同期比120.1%増加）となりました。

##### ②北米・中南米

取引先自動車メーカーの生産回復により、売上高は96億59百万円（前年同期比40.0%増加）となりました。また、構造改革による業務効率化と生産性の向上により、営業利益は8億40百万円（前年同期は38百万円の営業損失）と大幅に改善いたしました。

##### ③中国

中国自動車市場の拡大により引き続き堅調に推移いたしました結果、売上高は26億28百万円（前年同期比12.8%増加）、営業利益は3億56百万円（前年同期比119.8%増加）となりました。

##### ④アジア

タイ、インドネシアをはじめとする東南アジアにおける自動車市場の大幅な回復により、売上高は45億63百万円（前年同期比64.3%増加）、営業利益は6億77百万円（前年同期比493.9%増加）となりました。

##### ⑤欧州

売上高は13億31百万円（前年同期12.4%増加）となりましたが、取引先自動車メーカーの生産回復の遅れにより収益を確保するまでには至らず、65百万円の営業損失となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は672億06百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億63百万円増加しました。主な要因は現金及び預金の増加1億59百万円、売上債権の増加4億18百万円、たな卸資産の増加6億23百万円、有形固定資産の減少5億83百万円、投資有価証券の増加4億49百万円、繰延税金資産の増加2億58百万円等であります。

負債合計は309億76百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億77百万円減少しました。主な要因は仕入債務の増加5億74百万円、借入金の減少12億69百万円、未払金の増加3億89百万円、未払法人税の減少1億53百万円、退職給付引当金の増加2億20百万円等であります。

純資産は362億30百万円となり、前連結会計年度末に比べて23億40百万円増加しました。主な要因は四半期純利益による増加19億75百万円、配当金支払による減少3億16百万円、自己株式の処分による増加10億26百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億28百万円、為替換算調整勘定の減少1億79百万円等であります。

### (キャッシュ・フローの状況)

営業活動により得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が31億55百万円、減価償却費が20億75百万円、売上債権の増加による資金減が6億32百万円、たな卸資産の増加による資金減が8億54百万円、仕入債務の増加による資金増が7億99百万円、法人税等の支払による資金減が12億99百万円あったことなどにより、38億99百万円となりました。

投資活動により使用された資金は、有形固定資産の取得による支出が21億44百万円、投資有価証券の取得による支出が10億00百万円あったことなどにより、31億67百万円となりました。

財務活動により使用された資金は、短期借入による収入27億20百万円、短期借入金の返済による支出38億28百万円、長期借入による収入4億70百万円、長期借入金の返済による支出4億63百万円、自己株式の処分による収入9億92百万円、配当金の支払による減少3億16百万円などにより、4億45百万円となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末と比較して1億59百万円増加し、94億72百万円となりました。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,603	9,444
受取手形及び売掛金	15,242	14,824
商品及び製品	2,476	2,490
仕掛品	2,091	1,881
原材料及び貯蔵品	4,128	3,700
繰延税金資産	431	428
その他	1,520	857
流動資産合計	35,491	33,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,975	12,982
機械装置及び運搬具	42,227	42,976
工具、器具及び備品	5,984	6,077
土地	3,820	3,445
リース資産	125	112
建設仮勘定	823	841
減価償却累計額	△42,534	△42,542
減損損失累計額	△112	—
有形固定資産合計	23,308	23,891
無形固定資産		
のれん	24	39
リース資産	85	100
その他	333	374
無形固定資産合計	443	513
投資その他の資産		
投資有価証券	4,750	4,301
繰延税金資産	2,512	2,258
その他	530	484
投資その他の資産合計	7,792	7,043
固定資産合計	31,542	31,446
繰延資産	—	1
資産合計	67,033	65,071

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,506	11,932
短期借入金	3,825	5,062
未払金	2,098	1,709
未払法人税等	961	1,114
賞与引当金	685	699
製品保証引当金	232	187
その他	961	1,107
流動負債合計	21,268	21,810
固定負債		
長期借入金	2,061	2,094
リース債務	103	126
退職給付引当金	6,915	6,696
役員退職慰労引当金	202	202
固定負債合計	9,280	9,117
負債合計	30,548	30,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	3,031
利益剰余金	29,790	28,129
自己株式	△276	△1,302
株主資本合計	35,992	33,340
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,293	1,520
繰延ヘッジ損益	△4	△20
為替換算調整勘定	△2,692	△2,512
評価・換算差額等合計	△1,403	△1,012
少数株主持分	1,896	1,816
純資産合計	36,485	34,144
負債純資産合計	67,033	65,071

(訂正後)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,603	9,444
受取手形及び売掛金	15,242	14,824
商品及び製品	2,476	2,490
仕掛品	2,091	1,881
原材料及び貯蔵品	4,128	3,700
繰延税金資産	431	428
その他	1,520	857
流動資産合計	35,491	33,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,975	12,982
機械装置及び運搬具	42,227	42,976
工具、器具及び備品	5,984	6,077
土地	3,820	3,445
リース資産	125	112
建設仮勘定	823	841
減価償却累計額	△42,534	△42,542
減損損失累計額	△112	—
有形固定資産合計	23,308	23,891
無形固定資産		
のれん	24	39
リース資産	85	100
その他	333	374
無形固定資産合計	443	513
投資その他の資産		
投資有価証券	4,750	4,301
繰延税金資産	2,685	2,430
その他	530	484
投資その他の資産合計	7,965	7,215
固定資産合計	31,715	31,619
繰延資産	—	1
資産合計	67,206	65,244



(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,506	11,932
短期借入金	3,825	5,062
未払金	2,098	1,709
未払法人税等	961	1,114
賞与引当金	685	699
製品保証引当金	232	187
その他	961	1,107
流動負債合計	21,268	21,810
固定負債		
長期借入金	2,061	2,094
リース債務	103	126
退職給付引当金	7,342	7,123
役員退職慰労引当金	202	202
固定負債合計	9,708	9,544
負債合計	30,976	31,354
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	3,031
利益剰余金	29,535	27,875
自己株式	△276	△1,302
株主資本合計	35,737	33,086
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,293	1,520
繰延ヘッジ損益	△4	△20
為替換算調整勘定	△2,692	△2,512
評価・換算差額等合計	△1,403	△1,012
少数株主持分	1,896	1,816
純資産合計	36,230	33,890
負債純資産合計	67,206	65,244

(2) 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間  
 (訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	31,673	40,605
売上原価	27,174	32,987
売上総利益	4,498	7,618
販売費及び一般管理費	3,245	3,506
営業利益	1,253	4,112
営業外収益		
受取利息	14	11
受取配当金	24	31
為替差益	37	—
その他	158	129
営業外収益合計	233	171
営業外費用		
支払利息	190	125
為替差損	—	336
その他	69	79
営業外費用合計	259	540
経常利益	1,227	3,744
特別利益		
前期損益修正益	76	—
固定資産売却益	14	11
特別利益合計	90	11
特別損失		
前期損益修正損	—	86
固定資産除却損	11	137
投資有価証券評価損	—	74
減損損失	—	112
子会社清算損	—	190
特別損失合計	11	599
税金等調整前四半期純利益	1,306	3,156
法人税、住民税及び事業税	681	1,128
法人税等調整額	△73	△121
法人税等合計	608	1,006
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,150
少数株主利益	57	174
四半期純利益	641	1,976

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	31,673	40,605
売上原価	27,191	33,005
売上総利益	4,481	7,601
販売費及び一般管理費	3,229	3,490
営業利益	1,252	4,111
営業外収益		
受取利息	14	11
受取配当金	24	31
為替差益	37	—
その他	158	129
営業外収益合計	233	171
営業外費用		
支払利息	190	125
為替差損	—	336
その他	69	79
営業外費用合計	259	540
経常利益	1,226	3,743
特別利益		
前期損益修正益	76	—
固定資産売却益	14	11
特別利益合計	90	11
特別損失		
前期損益修正損	—	86
固定資産除却損	11	137
投資有価証券評価損	—	74
減損損失	—	112
子会社清算損	—	190
特別損失合計	11	599
税金等調整前四半期純利益	1,305	3,155
法人税、住民税及び事業税	681	1,128
法人税等調整額	△74	△122
法人税等合計	607	1,006
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,149
少数株主利益	57	174
四半期純利益	640	1,975

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書  
(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,306	3,156
減価償却費	2,182	2,075
減損損失	—	112
のれん償却額	91	25
有形固定資産除却損	—	137
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	74
子会社清算損益 (△は益)	—	190
受取利息及び受取配当金	△38	△42
支払利息	190	125
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△11
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,470	△632
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,151	△854
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,753	799
その他	501	125
小計	3,665	5,280
利息及び配当金の受取額	38	42
利息の支払額	△211	△124
法人税等の支払額	△164	△1,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,327	3,899
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,021	△2,144
有形固定資産の売却による収入	14	11
投資有価証券の取得による支出	△7	△1,000
その他	△31	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,045	△3,167
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,101	2,720
短期借入金の返済による支出	△6,641	△3,828
長期借入れによる収入	9	470
長期借入金の返済による支出	△494	△463
自己株式の取得による支出	△34	0
自己株式の処分による収入	—	992
配当金の支払額	△141	△316
少数株主への配当金の支払額	△4	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204	△445
現金及び現金同等物に係る換算差額	127	△128
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,205	159
現金及び現金同等物の期首残高	5,456	9,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,661	9,472

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,305	3,155
減価償却費	2,182	2,075
減損損失	—	112
のれん償却額	91	25
有形固定資産除却損	—	137
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	74
子会社清算損益 (△は益)	—	190
受取利息及び受取配当金	△38	△42
支払利息	190	125
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△11
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,470	△632
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,151	△854
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,753	799
その他	502	127
小計	3,665	5,280
利息及び配当金の受取額	38	42
利息の支払額	△211	△124
法人税等の支払額	△164	△1,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,327	3,899
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,021	△2,144
有形固定資産の売却による収入	14	11
投資有価証券の取得による支出	△7	△1,000
その他	△31	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,045	△3,167
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,101	2,720
短期借入金の返済による支出	△6,641	△3,828
長期借入れによる収入	9	470
長期借入金の返済による支出	△494	△463
自己株式の取得による支出	△34	0
自己株式の処分による収入	—	992
配当金の支払額	△141	△316
少数株主への配当金の支払額	△4	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204	△445
現金及び現金同等物に係る換算差額	127	△128
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,205	159
現金及び現金同等物の期首残高	5,456	9,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,661	9,472

## (5) セグメント情報等

〔所在地別セグメント情報〕

(訂正前)

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米・中南米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	18,486	6,897	6,290	31,673	—	31,673
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10,290	1,545	1,008	12,842	△12,842	—
計	28,775	8,441	7,299	44,515	△12,842	31,673
営業利益	<u>1,047</u>	△38	245	<u>1,253</u>	—	<u>1,253</u>

- (注) 1. 国又は地域は地理的近接度により区分しています。  
2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次の通りです。  
(1) 北米・中南米・・・アメリカ・カナダ・メキシコ・ブラジル  
(2) その他・・・・・・アジア・ヨーロッパ地域

(訂正後)

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米・中南米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	18,486	6,897	6,290	31,673	—	31,673
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10,290	1,545	1,008	12,842	△12,842	—
計	28,775	8,441	7,299	44,515	△12,842	31,673
営業利益	<u>1,046</u>	△38	245	<u>1,252</u>	—	<u>1,252</u>

- (注) 1. 国又は地域は地理的近接度により区分しています。  
2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次の通りです。  
(1) 北米・中南米・・・アメリカ・カナダ・メキシコ・ブラジル  
(2) その他・・・・・・アジア・ヨーロッパ地域

[セグメント情報]

(訂正前)

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期損 益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	22,424	9,659	1,331	2,628	4,563	40,605	—	40,605
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,615	62	—	163	—	6,840	△6,840	—
計	29,039	9,721	1,331	2,791	4,563	47,445	△6,840	40,605
セグメント利益	<u>2,366</u>	840	△65	356	677	<u>4,174</u>	△62	<u>4,112</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△25百万円及びたな卸資産の調整額△45百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期損 益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	22,424	9,659	1,331	2,628	4,563	40,605	—	40,605
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,615	62	—	163	—	6,840	△6,840	—
計	29,039	9,721	1,331	2,791	4,563	47,445	△6,840	40,605
セグメント利益	<u>2,365</u>	840	△65	356	677	<u>4,173</u>	△62	<u>4,111</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△25百万円及びたな卸資産の調整額△45百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。